

遠藤友四郎 (遠藤友四郎) 評論家。明治十四年八月、千七百福島縣生れ、

昭和二十七年四月、二十八日歿 (二八六一—一九六二)。筆名土郎、遠藤無水、

遠藤生等。明治四十年同志社神學部中退。翌年高田素之等と『東北評

論』創刊、大正七年堺利彦の賣又社に入社、翌年高島、尾崎士郎等と

『國家社會主義』發刊、十四年個人誌『日本思想』發刊、昭和二年錦

旗會と興して機關誌『錦旗』發刊、五年長澤九一郎等と會社主義推進會と

結成。

著書『社會主義者』、『浴つた漱石の猫』(遠藤無水名、大正八年七月

十日自刊、文泉堂發賣)、『財産奉還論』(同、大正八年十月二十

日自刊、文泉堂發賣)、『労働者のマルクスとウロボトキン』(同、

譯、大正九年二月、千日又泉堂)、『拷問と虐殺―露西亞事實』(譯

著、大正十二年五月、千五百竹内書店)、バクーニ著『神と國家』

(譯、大正十五年一月、千日文化社)、<sup>『超宗教』</sup>『國體論と天皇信仰』(昭和六

年八月十五日先進社)、<sup>『會社國史詠歎』</sup>『會社國史詠歎』(昭和十八年一月、千五百

本産業經濟社)等。